

ふれまち神出通信

「地域を豊かに育む力」

神出町自治協議会

会長 田中 敏憲

皆様には平素から、神出町自治協議会の諸活動に格別のご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

前号のふれまち通信でも述べましたが、地域の活性化には、地域の魅力を高め内外に発信する力が大切になります。その為にも、若者の発想や活力が大切なのは言うまでもありません。神出町には、消防団組織や体育委員会、小・中PTAや子ども会といった地域の未来の担い手としての組織基盤がしっかりと機能し、自治会行事を始め多くのイベントや各種団体の種々の催しで大きな力となって支えて頂いています。温もりあるふれまち活動について多く関係機関からお褒めを頂くふれあいのまちづくり協議会の構成各種団体の皆様の存在があります。感謝にたえません。

私自身、『行事やイベントの継続は地域コミュニティの成熟・活性につながる。』との強い思いを持って、長年、自治会の諸活動に取り組んでまいりました。たしかに、行事やイベントには人々を結びつけ維持する大きな力があるようです。計画から準備・実行まで多くの人が関わり、知恵を出し汗を出し、力を出し合うのです。その力が、地域を豊かに育むと確信しています。昨今、各地で南海、東南海地震に伴う各種

災害のシミュレーション画像がマスコミで公開され、大きな災害に備える防災、減災の取り組みがなされています。《災害時一人も見逃さない運動》など、災害弱者に向けた取り組みも、地域コミュニティの力なのです。

神出町自治協議会でも、種々の催しを、今年も推進してまいります。その催しを通じて、老若男女、沢山の住民参加の機会があることで互いの顔が見える素晴らしい地域コミュニティが築かれることを信じています。この様な取り組みを評価いただき、昨年9月に神戸市長から《地域活動賞》をいただいたり、十月の『広報KOBÉ』にパートナーシップ推進会議での取り組みを大きく紹介いただきました。



雌岡山山頂にて

ふれまち神出通信発行団体
 神出ふれあいのまちづくり協議会
 西区神出町田井三三四―二
 地域福祉センター
 編集責任者 田中 敏憲
 西馬中義和

目次項

自治協議会役員決まる	1
パートナースhip報告	2
阪神淡路大震災から	3
かたこ会、民児協	4
友愛、小・中学校	5
中PTA、児童館	6
民生児童委員協議会	7
記念式典、定例教室募集	8

最後にになりましたが、二十六年の自治協議会の1月の定例会に於いて、執行役員が、次のように選出されました。

会長 田中 敏憲(北)
 副会長 前 前 芳信(南上)
 副会長 梶 哲郎(田井)
 幹事 藤田 芳生(南下)
 監査 押部 好和(新々田)
 監査 久戸 貢(勝成)
 監査 大西 増弘(神納)

今年も自治協議会として、地区住民一人一人が安全で安心して暮らせる素晴らしい地域づくりに力を合わせて取り組んで参らなければなりません。ふれまち構成各種団体の皆様の更なるご指導をお願しながら、皆様と共に力を合わせて楽しく活動のできるまちづくりを推進して参りましょう。



2月1日ふれあい餅つきにて